

【平成29年12月28日公開】

平成29年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

- 1 日 時 平成29年11月2日（木）午後19時から21時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1001学習室  
（調布市小島町2丁目33番地1）
- 3 出席者 市 民 3人  
事務局 12人

調布市：城戸生活文化スポーツ部次長、榊文化振興課長、  
半澤生涯学習交流推進課長

財 団：吉田常務理事、土方事務局長、窪田総務課長、  
鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長、  
常廣総務課長補佐、土井コミュニケーション課長補佐、大割総務課施設管理係長、  
藤堂たづくり事業課たづくり事業係長、阿部グリーンホール事業課グリーンホール  
事業係長

4 資 料

平成29年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会（平成29年7月1  
日）要望事項対応表【平成29年10月20日現在】

《会議録》

- 1 開会
- 2 財団あいさつ 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項

○窪田総務課長

定刻となりましたので、ただいまから平成29年度第2回たづくり・グリーンホール利

利用者懇談会を開会します。進行は、お手元に配付しました利用者懇談会の次第に沿って進行します。

初めに、本日の配付資料を確認します。1点目が、利用者懇談会の次第です。2点目が平成29年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会要望事項等対応表、そのほか、机上に出席票があります。

続きまして、財団から常務理事の吉田よりごあいさつを申し上げます。

#### ○吉田常務理事

こんばんは。本日はお忙しい中、今年度第2回目となります利用者懇談会にお越しいただきありがとうございます。

秋も大分深まり、夕方は大分寒くなりましたが、調布市では芸術の秋にふさわしく、10月19日から第62回目となる調布市民文化祭を開催中であります。今年のテーマですが、「調布が奏でる文化・芸術の調べ」ということで、たづくりを中心としながら地域の公民館で開催中です。今日、午前中に地域の公民館3館を回ってまいりました。皆さん本当に活気に満ちておりまして、それぞれの日頃の活動の成果であります展示品とか歌の発表とかを拝見させていただきました。どれも素晴らしく、1年間の成果を皆さんに見せてあげたいという気持ちで展示にもいろいろな工夫をされておりました。職員も一緒に楽しんでおられる姿を見て、私も少し元気をもらってきたところです。

各館の公民館のテーマを少し紹介しますと、西部公民館は「みてきいて楽しさ学べる西部のつどい」です。東部公民館は「愉しもう公民館と地域の和」、北部公民館は「～笑顔あふれる地域の絆～」となっていました。どの館も地域とのつながりを意識し、お子さんから高齢者までみんなで文化を生活の一部に取り入れていこう、生き生きと毎日を過ごしましょうというメッセージが強く伝わってくる内容で、喜ばしく思いました。

たづくり、グリーンホールは、こうした市民の日々の活動を支えている大切な施設であります。老朽化の施設の問題とか、費用面から改善が難しいものもありますが、職員のマンパワーで、少しでも利用しやすい、活動しやすい施設にしてまいりたいと考えております。

本日は限られた時間ではありますが、日頃感じていらっしゃることをぜひ忌憚なくお話しいただき、私たちもそれに応えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○窪田総務課長

続きまして、出席者を紹介いたします。

最初に、調布市側の出席者からご紹介します。生活文化スポーツ部・城戸次長です。

○城戸生活文化スポーツ部次長

城戸です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

同じく生活文化スポーツ部文化振興課・榊課長です。

○榊文化振興課長

榊です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

同じく生涯学習交流推進課・半澤課長です。

○半澤生涯学習交流推進課長

半澤です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

次に、私ども調布市文化・コミュニティ振興財団の出席者です。改めまして、常務理事の吉田です。

○吉田常務理事

吉田です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

事務局長の土方です。

○土方事務局長

土方です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

コミュニケーション課長兼たづくり事業課長・鈴木です。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

鈴木です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

コミュニケーション課長補佐・土井です。

○土井コミュニケーション課長補佐

土井です。よろしくお願いいたします。

○窪田総務課長

たづくり事業係長・藤堂です。

○藤堂たづくり事業係長

藤堂です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

総務課長補佐・常廣です。

○常廣総務課長補佐

常廣です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

同じく、施設管理係長・大割です。

○大割総務課施設管理係長

大割です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

グリーンホール事業係長・阿部です。

○阿部グリーンホール事業係長

阿部です。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

最後に、本日、進行を務めます総務課長の窪田です。よろしくお願いします。

続きまして、連絡事項に入ります。この懇談会に際しましては、お願いごと、連絡事項が3点あります。

まず、1点目は、お手元に配付している出席者票にご記入をお願いします。座席番号の記入忘れのないようにしていただき、お帰りの際に机の上に伏せてお帰りください。住所は町名のみで結構です。

2点目です。この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。要約した形でホームページに公表し、また、財団報ぱれっとには抜粋した形で掲載いたします。発言者の氏名は公表しません。

3点目です。この会の終了予定時刻は最大で21時までとさせていただきます。

たづくり、グリーンホールを利用されている方々と意見交換をし、お寄せいただく意見などにより、よりよい運営を目指すことを趣旨としています。スムーズな進行を心がけますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、懇談に入る前に、前回、7月に開催した第1回利用者懇談会にて頂戴したご意見について、その後の対応の確認をさせていただきます。本日の配付資料、要望事項等対応表の右欄に太字下線で平成29年10月20日現在と記した対応状況の部分に関する確認です。

まず、最初のページのNo. 4になります。調布駅前広場整備におけるグリーンホールや地下駐輪場などの工事内容については、全体像を示し、市民の声を計画に反映してほしいというご意見、ご要望をいただきました。これにつきましては、10月20日現在ですが、調布市文化振興課からの回答文になります。グリーンホールについて、第1回たづくり・グリーンホール利用者懇談会で寄せられた皆様からのご意見、ご要望については、庁内関係部署で共有をしています。現在も引き続き、調布駅前広場整備との総合調整や施設の課題などを多角的に検討しています。また、グリーンホール利用団体の皆様の施設に関してお気づきの点や、機能設備についてのご意見、ご要望を把握させていただくため、意見交換を予定しています。

No. 6、社会人学習室の利用者のマナーが悪い。利用ガイドの周知徹底、利用環境をよくしてほしいというご意見を頂戴しました。これにつきましては、マナー向上に関する文書を来館者に配布、また掲示して改善を図っています。

No. 9、講演会後にアンケートが配布されますが、記入する時間が短く、すぐ退室を促されることが多い。具体的に内容を書き込めるように十分に時間をとってほしいというご要望を頂戴しました。これにつきましては、8月31日開催の講演会から、終演後、ロビーでアンケートを記入できるスペースを設けさせていただいています。

No. 10、平成30年度の市民カレッジの内容は決定しているのか教えてほしいというご質問を頂戴しました。これにつきましては、講師との交渉を順次進めている段階です。ご要望の講座については、講師と調整の結果、平成30年11月からの開講を予定しています。

No. 12、書籍などの物品販売ができるようにしてほしいというご要望を頂戴しました。これにつきましては、大会議場や映像シアターなどホール系施設では、一定の条件のもとで書籍などの販売が可能な場合があります。舞台の打ち合わせは必ず設けさせていただいていますので、その際にご相談くださいという回答とさせていただいています。

以上、要望事項等対応表について説明いたしました。ご質問などがあればお願いします。

○F

私の議題は、今お答えいただいた中に関連しますが、特に問題なのは、グリーンホールの客席が約600席も減ってしまうということです。これは単に600席が減りますという通知をいただくだけでは非常に困ったもので、調布市として、大ホールは維持することが絶対必要だと思います。600席減らさずに、今のグリーンホールは合計で1,307席になりますか、そのまま維持できるような方策をぜひ考えていただきたいのです。

600席減るという理由はよく分かりませんが、避難階段として使えなくなるからという理由であれば、グリーンホールの北側にスペースがありますから、あそこへ階段を移設することもできましょうし、いろいろな方策があると思います。単に600席減りますから承知してくださいということではなく、財団としてやはり大問題だという認識のもとに、いかに1,307席をキープするかをまずお考えいただきたいと思います。まず、600席減るのはなぜなのか。

○榎文化振興課長

東京都の安全条例上で、客席数に見合った階段幅を確保しなければいけないのですが、外の階段がなくなってしまった場合には、内部の階段のみとなりますので、大幅に客席数を減らさなければ、そのままの状態では使えないということです。客席数を減らした状態で使うことが決定しているわけではありませんが、外階段がなくなってしまった場合は、東京都の安全条例上の関係で客席数を減らさなければいけないという状況があります。

○F

外側の階段がなくなるのであれば、十分スペースがある北側にもっていくなどの検討を行ったうえでも、600席を減らさなければいけないのかということです。その辺はどうお考えなのか。

○榎文化振興課長

平成27年度に屋外階段の移設検討を実施しています。移設検討案が複数あり、建物の外側、外部に移設する案もありましたが、そちらは増築に当たることから、地区計画の規定に適合しないため、改修ができないという結果が出ています。

また、建物の内部、内側に階段を新設する案も示されています。構造的に改修可能という結果が出ていますが、一方で大ホールの前のホワイエや、今1階にあります事務室のスペースが十分に確保できないということやバリアフリーなどにも課題がある状況です。

○F

ビルの中に設けるのではなくて、外側の北側にスペースがあるでしょう。大分あいていますからね。あそこへ持っていったらできるのではないですか。

○榊文化振興課長

検討結果では、地区計画の適合ができないので、外側への移設はできないという結果が出ています。

○F

できないということは簡単に言えます。実現のためにはどのようにしたらいいかを考えてもらいたいと思います。我々市民から見ると、調布市から1,300席あるグリーンホールという非常に立派な設備が使えなくなってしまうのは本当にもったいないと思います。

最近、私もほかの区、あるいはほかの市のこういう施設に時々行っていますが、調布市よりはるかにいい設備をお持ちのところもあります。調布市として、グリーンホールの約1,300席が約600席減って約700席になります。そのままでいいのですかということ。ぜひ、今の1,300席あるグリーンホールを活かすためにはどのようにしたらということ、市役所の人だけで考えるのではなくて、衆知を集めてもらいたいです。

○榊文化振興課長

開館から40年を迎えているグリーンホールは、芸術・文化活動の拠点として広く市民に親しまれています。市の方針はお示ししてはいますが、市議会や利用者の皆様からも、できるだけ長く大切に使ってほしい、できるだけ現状のまま継続的に使用してほしいというご意見、ご要望もいただいています。そうしたことを踏まえながら市でも検討していますので、ご理解をよろしくお願いします。

○F

要望事項対応表には、皆さんから意見をもらいますと書いてありますが、いつ、どこで、どのように実施するのかまで考えて市としては対応してもらいたいのです。これは財団としても大変なことだと思うので、調布市として、せっかくある設備が600席減ります、ああ、そうですかですまされない問題だと私は思います。

○榊文化振興課長

利用団体との意見交換につきましては、定例的にホールを利用している団体の代表者を中心に3人から4人ぐらい想定していますが、その方たちと、所管課である文化振興課と指定管理者である文化・コミュニティ振興財団で、直接意見交換の場を設けて実施をしたいと考えています。今、各利用団体と日程調整をしているところです。

○F

私もこの問題を前回7月のこの会で初めて知って、そんな大変なことになっているのかと驚きました。ただ、利用団体もいろいろあろうと思うので、単に市の言うことをそうですかとそのまま鵜呑みにする団体のほうが多いかもしれません。それでは困るので、一般の市民の意見をどのように集めるかもぜひ考えていただきたいです。

単に利用団体の了承をとったからですませないでもらいたい。よろしくお願いします。

○榊文化振興課長

はい。

○窪田総務課長

要望事項の対応については、ほかにありますでしょうか。

○F

それから、前回財団が実施する、展覧会などの講演会に関する要望について、NHK関連の展覧会だけの回答になっています。私の意向はそうではなくて、展覧会は企業や都美術館など、いろいろなところであるので、ぜひ財団から声をかけて開くようにしていただきたいというのが希望です。単に向こうから調布市さん、いかがですかという声ばかりを待つのではなくて、こっちから積極的に展覧会の関連講演会をやってくださいという働きかけをしたほうがいいのではないかと思います。それはNHKに限らずぜひお願いしたいと思います。

○藤堂たづくり事業課係長

この件につきまして、確かに現在はNHKさんとだけ提携していますが、私たちもいろいろ調査し、今ご提案いただいた美術館などにもお伺いしました。現状、NHKの講演会自体は皆さん無料で来ていただいて、出品作品のスライドをたくさん見ていただきながら解説をして、さらに最後にその美術展の招待券を配布するという形式をとっています。そういう形の講演会を美術館の学芸員さんをお願いしたり、できますかとお伺いしましたが、現状できるところがなくて、今、NHKさんとの提携以外に方法がない形です。

○F

NHKに限らず、そういう機会をぜひ作っていただきたい。招待券は必ずしもなくてもいいと思います。私はそれを目当てで来るのではなくて、実際にNHKや民放のテレビ番組でもいろいろな紹介がありますので、調布市としても、もう少し時間をかけて解説する講演会があってもいいのではないかと思いますので、NHKに限らず、ぜひよろしくお願いします。



いします。

それから、私の希望で国立音大の安川先生の講義は、公開講座で非常にいい講座だったので、ぜひあの形式でオペラの講座をお願いしたいという趣旨です。来年11月からという回答をいただきましたが、昨年11月にお願いしたことなので、それを半年でも早めていただくとありがたいです。

あと、実際に一昨年の7月、安川先生が公開講座でお使いいただいたレジュメなのですが、10ページから成って、「トゥーランドット」についてお話しいただきました。実際に今の成り行き、推奨DVD、歴史、さらにピアノを持ち込んでテーマの説明などもしていただいて、非常に中身の濃い講座だったので、ぜひこういう形式の講座を市民カレッジとしてお願いしたいと思います。前に堀内修先生の市民カレッジ「オペラの愉しみ」が7年ぐらい続きましたが、終了となったことから、市民サークル活動を立ち上げました。その講座は大体映像を見せていただくだけのものにして、本当の入門者向けのものに留まっています。安川先生のもう少し中間レベルまで上げた講座として、ぜひ市民カレッジとして取り上げていただきたいと思います。

安川先生のお話は、前回の公開講座のような手法で実施する方向で進んでいるわけですね。それはいかがですか。

○藤堂たづくり事業課係長

こちらからは映像を使って、あとピアノも会場としては使えるので、そういう形でお願いしています。

○F

内容はまだ詳細に決まっていないということですか。

○藤堂たづくり事業課係長

はい。

○F

ぜひ公開講座のような内容でお願いしたいという趣旨なので、それをよく先生にお願いしておいてください。

もう1つ、これは何回ぐらいでご計画ですか。

○藤堂たづくり事業課係長

6回程度になる予定です。

○F

市民カレッジとしてはその程度でやむを得ないかもしれませんが、もし受講者の評判がよければ、さらに続けていただくこともあり得るということで理解させていただきます。

それから、半年前倒しはできませんか。

○藤堂たづくり事業課係長

すみません。半年前倒しはできません。

○F

そうですか。できないというのはやむを得ませんね。私は以上です。

○鈴木コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

ありがとうございます。今いただいたお話ですが、また安川先生と密に連絡はとりますが、やはり先生のいろいろなお考えもあると思います。ご要望は承りますので、どういった形でできるかはまた我々からお示しさせていただきたいと思っています。

○F

一昨年の7月には映像シアターで開催されて、受講者からはかなり好評ではなかったかと私は思っています。実際そういうことであれば、私は市民カレッジ「オペラの愉しみ」から引き続けている市民サークルの活動の仲間にも紹介したいと思っていました。ただ、内容がどうなるかによって紹介の仕方が変わってくるので、その辺、ぜひ早く詰めて教えていただきたいと思っています。

○窪田総務課長

ありがとうございました。それでは、Cの方、お願いいたします。

○C

Cと申します。よろしくお願いいたします。最初に、具体的なお話をする前に、7月にも午前中に利用者懇談会をやられていたかと思います。そのときも仕事の関係で、どうしても懇談会の終わる間際の時間に着きました。でも、着いたら、もうもぬけの殻でした。ご案内として、時間を決めている以上は最後までいていただきたい。

終わった後、たづくり7階の受付で、もう終わってしまったのですかと聞いたら、総務課の方は非常にご親切だったので、7月に話そうと思っていたことはご担当者の方に個別に聞いていただきました。当たり前ですが、前回の7月の議事録を見ると、こういう場に出て話したもののしか議事録に残りません。

やはり時間を決めている以上はそれまで残ってほしい。私も今日は仕事をしてから来ていますが、夜間だと、もしかしたら仕事が終わって21時ぎりぎりである人もいるのでは

ないかと思ひます。ここはぜひお願いしたいと思ひます。何か散会しなければいけない理由はありますか。拘束時間の関係とか、1秒でも早く終わったほうがいいのか、皆さんが帰りたい理由とかはあるのでしょうか。

○土方事務局長

別にそういうことはございません。

○C

今回以降、そこはどうですか。

○窪田総務課長

昨年は、閉会後に来場する方がいることを認識していませんでしたが、実際7月にお越ししいただいて、会場が閉まっていたということですので、対応していく形で考えていきたいと思ひます。

○C

来ている人と主催者側の人で、バランスが主催者側ばかりという状況でありますので、いてもという感じになってしまうのも気持ちは分かります。ただ、案内で時間帯を区切って出されている以上は、その時間であればという思いで来る人もいるかもしれないので、そこはお願いしたいと思ひています。

それで、具体的には、7月にお話ししようと思つたことと同じ内容を持ってまいりました。3つあります。

1つは、この部屋もそうですが、今、照明として蛍光灯がついています。あと、エレベーターホールとかのダウンライトも、FDLというタイプの、家庭で使っているねじとは形が違ふのですが、ピンが4本出ている、特殊な爪がついているものです。少し変わった形なので、なかなかというのものもあるかもしれないですが、そういうところも含めて、今、蛍光灯はLEDがいっぱい出ていまして、普通の電気屋さんで売っていないものですが、工事が不要で交換ができます。ランプさえ替えてしまえば、LEDにしてすぐ省電力化が図れるものがありましたので、7月にご担当の人にもご提案しました。

少し資料を見たところ、平成26年度調布市の温室効果ガスの排出量の多い施設、皆様はご存じかも知れませんが、たづくりが1番となっております。18%です。ただ、LEDの導入計画を見ると、平成31年度までに実施するとも書いてありました。自分もマンションに住んでいますが、そのような形で器具ごと替えてしまうと、業者さん、資格を持った人がやらないといけないのでお金がかかってしまひますが、ランプだけ交換すると

いうものがあります。資料もお持ちしたので、後でお渡ししようと思います。

直管型のものでいうと、1本つけてしまえば消費電力は大体半分です。あと、ダウンライトの形のものであれば、18ワットとか27ワットとかありますが、今日自分が持ってきたものだと7ワットです。半分以下です。そのぐらいすぐ削減できます。

担当の方にお話ししたのが、FDLと言われているダウンライトの形のものも特殊なのですが、通販で売っていて、1個1,380円という値段です。10個買っても1万円ぐらいのものです。最初にお試しでもいいから10個ぐらいつけてみたらどうですかというお話をしました。

ただ、私が7月にその方にお話ししてから、今日は11月2日ですが、特にそういうのがついたという感じにも思えないですし、担当の方からどのようになったのかは分かりません。そういうわけで、大げさな工事もなく不要で、ランプだけ替えればすぐに節電効果が得られる。こちらのビルのエネルギーの排出ガスの削減にも、もちろんまとめるほどにありますが、すぐに効果があります。

自分のマンションでは、少なくともできるところは全てそういう形にしてしまいました。大手の会社さんは、ランプだけを替えるのは余りお勧めしませんとかという話を必ずします。メーカーにもよりますが、だめだった会社もあります。ただ、自分のところでは、今使っている会社で直管のものは、何か事故を起こしたり、切れたことは1回もありません。ダウンライトのものは、最初買ったメーカーはすぐに切れたものもありますが、2回目を買って、今回持ってきた会社のものは、形が違うものを今使っていますが、切れたことはありません。そういうすぐできるもので節電になれば、当然コストの削減にもなりますし、ひいてはたづくりの運営収支の改善にも役に立つと。みんなで使っているもので、自分のところでいい効果がありましたので、ご提案させていただきたいと思います。

今伺いたいのは、7月から10月でそういう話は聞いたことがありますか。

○大割総務課施設管理係長

担当の者がそういうお話をお伺いしたのは私も聞いています。

照明については、ご指摘のように、今でいう蛍光管に当たるものをLEDの照明にできることは知識としてはありますが、直管の蛍光灯にしてもダウンライトにしても、数千というレベルでありますので、一部、地下1階の駐輪場については直管タイプのものをLEDにすることを試行しています。

その他については、何分、数が多いこともあって、器具自体20年ぐらいたっています

ので、将来的にまとめてLEDの照明器具にすることになると思いますが、現段階では今おっしゃったような方法は考えていません。市が行う工事などでは、JIS規格でなければならないとか、いろいろな条件がありますので、私の不勉強かもしれませんが、現状では難しいところです。

○C

JIS規格でなければならないのが壁なのですか。

○大割総務課施設管理係長

私の知識が古いかもしれませんが、JIS規格をとっているものもあるかもしれませんが、そういうものが出回り始めたころに確認したところ、JIS規格をとっているものがないということで、市が行う工事としては難しいだろうということです。照明器具自体はLEDのものが今出ていますので、ある時期にまとめて交換することになるのではないかと考えています。

調布市の温暖化対策実行計画のこともご指摘がありました。LEDは当初の計画に入っていました、今言ったような事情で、数千もある器具を交換していくのは、休館が伴いますので現実的ではないということで、ほかの方法でCO<sub>2</sub>の削減を図っている、目標は達成しているということです。

照明器具も、おっしゃるように交換するとCO<sub>2</sub>の削減になりますが、その他の方法でもできるということです。具体的には空調機器にインバーターを導入するとかということです。そのような形でCO<sub>2</sub>の削減を目標としては達成しているということです。

○C

例えば商業ビルなどでは、イニシャルでお金がかかったとしても、半日、それから1日中とか点いているところで消費電力が例えば半分や数分の1になると、やはり今のものだと工事を入れても2年くらいたてば元がとれてしまうと思います。やってしまったほうがいいわけです。民間は既にそういうことをしているわけです。やらないという不作為に対するものが非常に問題であると思います。自分はこのところの天井、蛍光灯とかを見ていると、もったいないとすぐ思ってしまう。良いものがあるのだから、つけばいい。

JIS規格とかがもしも壁であれば、電球がつかないとかは自分が勉強していなかったところかもしれません。であれば、逆に器具を全部かえるのを前倒して替えてしまって、効果を出したとアピールしていただくとか、そのほうが良いのではないかと思います。予

算の関係とかもあるのかもしれないですが、まだ29年度で、31年度までとか、いっぱいあればあるほど削減の、替えたことの効果が出るものなので、そのようにしたほうが良いのではないかと思います。

○大割総務課施設管理係長

私どもは管理者であり、大きな工事は市で実施することになります。今のご意見については承りましたので、市とよく相談したいと思います。

○C

2点目は、7月の議事録を読んでからまいりましたので、同じ話題になります。前の方がおっしゃったかどうか分かりませんが、グリーンホールの外階段の撤去の計画についてです。

調布市が駅前広場の地下駐輪場を作った後、平成35年末までにグリーンホールの外階段の撤去を計画中であって、大ホールの使用制限につながると聞いています。現在はスロープ式の地下駐輪場を作ったときに、下部から支える柱の工事までして、階段は維持すると聞いていますが、たづくりの地下みたいな、坂道を自分で押していく駐輪場を調布市の方は計画されています。

対案というか、今、機械式で入口だけが地上にあって、あとは円筒形の機械を地下に埋設して、地上からボタンを押すだけで出し入れできるというものも出てきておまして、そういうものも作れば、特に外階段を撤去することは不要なのではないかと思います。

駅前の広場、タコ公園だったところ、タコもなくなってしまいました。それから、駐輪場も時計台がついたのがありましたが、そこもなくなって、今、木が切られるかどうかを心配しているところです。

今日は財団の方がいらっしゃっているところで、この間、7月にご担当の方にもお伺いしましたが、グリーンホールの外階段がなくなってしまうと、グリーンホールの大ホールが今1,300席ぐらいあるのが半分ぐらいのキャパシティになるとも聞いています。樹木から駐輪場、駐輪場から外階段、外階段から大ホールの減築、キャパシティが減ってしまうところまでつながってしまいました。そうすると、もはや大ホールではないので、40年ぐらいたっているから壊してしまえばいいのではないかとかという話にもつながってきてしまうのではないかと危惧しています。

例えになります。国立競技場も壊してしまってから問題が噴出しました。現存の国立競技場はそのときにはありませんでしたから、あとはどうするかという、ないところから

考えなければいけなかった。今回も調布市が考えている地下駐輪場を作り、大きなロータリーを作り、それで階段がなくなってから、さあ、ゴールは大きな大ホールが維持できません。どうしましょうと。それからでは遅いと思います。

財団の方には、ホールの運営者として、そのような計画になっているのだと広く公表していただいて、公表するには大きなホールで行う催しもいっぱいあると思いますので、そのような興行ができなくなってしまうことについては、どうなのでしょう。財団としては、そういうことにつながってしまうことに反対という立場にはならないのでしょうか。

○土方事務局長

財団としては、財団の自主事業や貸出施設としてたくさんの市民の方に使っているもので、当然それは認識しています。今日は調布市が来ていますので、私たちから、外階段を撤去した場合、こういう形の問題が起きるとするのは市に全部伝えてあります。

先ほどFの方の質問について市が回答していますので、もう一度させていただきます。

○榎文化振興課長

今までの駅広の関係の屋外階段の状況ですとか、7月にグリーンホールとたづくりの利用者懇談会を受けてからのことについて、所管は私ども文化振興課ですので主にグリーンホールのことが中心になりますが、少しご説明させていただければと思います。

まず、グリーンホールの屋外階段については、平成26年10月、調布駅前広場の整備が街路事業として事業認可されました。その事業計画区域内に含まれる屋外階段は、歩行空間を確保する上で支障となることが想定され、将来的には撤去が必要となることが判明しました。このため、市では平成27年度にグリーンホールの屋外階段移設検討調査を実施しまして、外階段のほかの場所での設置や屋内に階段を増設する案などを検討しています。

並行して、ホール運用のあり方、施設の劣化診断や今後の改修、補修手法の調査検討など、多角的に検討を進めてきています。

こうした中、平成29年度第1回調布市議会定例会で、屋外階段を調布駅前広場の整備計画と整合を図る中で撤去する方向で調整していくとの方針が示されたところであり、階段撤去後に伴うグリーンホール機能のあり方の検討を含め、今後の対応を図ることとしています。

グリーンホールの屋外階段の取扱などについて検討する上で、駅前広場整備計画を踏まえ、事業の完了時期等々と整合を図ることについては、1つの目安になるものと考えてい

ます。階段の撤去のみ方針が示されたことで、芸術・文化活動を日々されている皆様には、今後のグリーンホールのあり方についてご心配されていることと思います。市の方針をお示ししてからこれまでの間、市議会や利用者である市民の皆さんから、開館から40年、芸術・文化活動の拠点として広く市民に親しまれているグリーンホールについては、できるだけ長く大切に使ってほしい、あるいはできるだけ現状のまま継続的に使用できないかといったご意見やご要望をいただいています。私たち芸術・文化の振興を担っている部門としては、こうしたご意見をしっかり受けとめる必要があるものと考えています。

これまでも階段を撤去した場合の施設運営など、多角的に検討を進めてきたところではありますが、その上で施設運営には大きな制約が生じることなど課題があることは十分認識しています。さらには、施設の老朽化やバリアフリーの対応、設備の耐用年数などの諸条件を踏まえながら、グリーンホールを今のまましばらく続けるといった可能性について検討することも1つの重要な選択肢であると認識しています。さまざまなご意見や選択肢などを踏まえつつ、庁内関係部署でグリーンホールの現状と課題、今後の方向性などについて総合的に協議調整をしており、今後、早期に方向性を定めてまいりたいと考えています。今後、適宜適切に市民や関係団体の皆様への情報共有に努め、できるだけ早期に方向性を定めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、先ほども申しあげましたが、グリーンホールの利用団体との意見交換を予定しておりまして、定例的にホールを利用している団体の代表者と指定管理者である調布市文化・コミュニティ振興財団、文化振興課で直接意見交換の場を設けて実施します。現在、各団体とは日程調整中であります。

○C

ありがとうございました。質問したところはそうではなくて、そこはこちらの対応表にも下線が引いてあるような形で書いてありましたので、そういうご回答になることは分かりました。あとは、財団と調布市の関係が微妙なのかもしれませんが、やはり財団の方にお考えをお伺いしたいです。反対なら反対として調布市に申し入れをして、外階段を作らないですむ方法、少なくとも木を守る活動をしている人とかは、機械式にすれば別に階段を撤去しなくてもいいというところまで案を出しています。そういうなかで、自走式の地下駐輪場にこだわるがゆえに階段を撤去する、階段を撤去するとホールが使えなくなる、芋づる式にそういう展開になってしまうのがとてもよくないと思います。

○土方事務局長



我々は指定管理者として、館の管理と事業の運営を任されています。当然、1,300人規模の来場を想定した事業も実施していますので、そういう状況になった場合には、なかなか厳しいという形で私たちも市には訴えています。

ただ、指定管理という形でグリーンホールとたづくりで事業を実施してくださいという形で指定されているので、我々の事業に対して課題が出ている部分は、市にも十分伝えてあります。

○C

では、具体的には、階段を撤去しなくていいようにしてくださいというお願いをしているということでしょうか。

○土方事務局長

考えとしては、1,300席がないと事業は打てませんので、残せるような方法があったら検討していただけないかという形です。

○C

今、諦めの境地なのか、それとも何とか階段を撤去しなくていいように知恵を出してくださいという形でやっているのか。

○土方事務局長

我々の方向としては、当然、1,300席残していただけるような形で検討していただきたいという方向です。

○F

では、私からも関連で、要は1,300席のグリーンホールを残しましょう、それが大前提です。残すことも選択肢のひとつなどというオーダーではありません。1,300席のグリーンホールは必ず残す。残すためにはどのようにするかを考えてもらいたい。

今の駐輪場を作るためですが、前回もご発言があったように、あそこへ駐輪場を作って本当に置く人がいるのかということが始まるわけです。現に今、西つつじヶ丘に230平米ぐらいの駐輪場がありますが、駅に非常に遠いものだから、そのうちの20平米ぐらいしか使われていない。駐輪場を作ったものの、置く人が全然いないのが現実です。

今のタコ公園へ駐輪場を作り、本当に何台置く人がいるのかはどのようにしてお調べになったのかということから始めなければいけないと思います。現にあそこへ駐輪場を作って置く人がいるのかどうか。せっかく駐輪場を作ったが、置く人がいなくて、結局残ったのは1,300席から600席を引いた700席のホールになってしまったというこ

とだけになりかねない。それは市としてもよく考えてもらいたい。行政の責任ですよ。駐輪場に置く人がいなかったら、誰が責任をとるのでしょうか。

納税者として私たちが非常に心配なのは、税金の無駄遣いになる可能性が非常に大きいということです。だから、むしろ駐輪場を作るにしても縮小して、外階段を動かさないのなら外階段をそのままにして、駐輪場を小さくすることも選択肢のひとつであるかと思えます。それは市としてよくよく考えてもらいたい。単にそういう計画ありきではなくて、実際に駐輪場が使われない場合、現に私は使う人は余りいないと思う。そのときに誰が責任をとるかまで考えてやっていただきたいです。1, 300席のグリーンホールは必ず残す前提でぜひお願いしたい。お願いするというより要求ですね。ぜひ真剣に取り組んでもらいたいということです。

○窪田総務課長

Cの方、途中で話が途切れましたので、何かありますか。

○C

自分は、自走式のたづくりみたいなスロープの地下駐輪場はとても使いにくいと思っています。押していかなければいけないし、また上がっていくのも大変です。今度は、グリーンホールの前の駅前広場に作るものも自走式で、坂道を降りていきます。さらに、今の計画を聞きますと、調布駅は地下に改札がありますが、そこもつながっていない。地下に停めたらまた地上に上がって、また地下の改札に行くというばからしい設計です。

この間、10月16日と17日に調布市の交通対策課の説明会がありました。そちらは線路敷地の上部に駐輪場を作るということで、今の駅ビルの映画館の西側、それから一番東側のA館と言われている棟の東側、両側の敷地に、線路の跡、地上ができたところに駐輪場を作るという計画でした。東側に自転車とバイクも含めて670台、西側に300台という計画です。ラックを使っているところもありましたが、バイク置き場もあり、あとは全て平置きということです。約12万人の乗降客がある調布駅、それも線路の上ということで、駅舎から地続きと見ることもできるような一番いい場所に、布田や国領みたいなものでいいかという平地の駐輪場を作ろうとしています。

それを知ったものですから、それに対しては2段の垂直昇降のラックとか、今、非常に使いやすいものもある。あと、先ほど申しあげたタコ公園に作ろうとしている地下機械式駐輪場で、地上に向けて高さ6メートルぐらいですが、機械式の駐輪場を作っている会社さんもある。そういうところの案を作りました。平地式の2段ラックとかにすれば、メー

カーさんにも聞きましたが、1.5倍ぐらいの台数は入る。機械式だと2.3倍ぐらいの効果がある。費用とかも含めて、ラックを置けば費用は少しかさみますが、土地の取得だけで京王は47億ということです。仮に1億かかったとしても、ラックで1.5倍、大体530台と私は見積もりましたが、そのぐらいの自転車を線路の上にもっと置くようになれば、駅前広場に計画している駐輪場は今1,900台規模ですが、1,400台ぐらいですむのではないかと考えています。

仮にそれを機械式駐輪場で全部賄おうとすると、駅前広場の機械式駐輪場は1基204台入ります。なので、大体7基分。そうすると、仮に1.5億円するとして、それが7基ですので、19億円を掛ける7基で引くと8.5億ぐらいは浮いてしまいます。仮に線路敷地上にラックの駐輪場を置いたとしても、機械式駐輪場と駅前広場とで減った分で整備すれば、結果的には安い構想で調布市がお考えになっている必要な台数を賄うこともできます。そういうところまで考えてお話をさせていただいているところです。

今日はお相手が財団と調布市の文化のご担当の方ですが、ただ階段が35年までになくなってしまふところからスタートではなくて、どうすればなくならずにすませられるのか。そのためには知恵を絞って、ホールはホールとか、樹木は樹木、駐輪場は駐輪場、敷地は敷地とかという考えだとやはり解決できないと思います。樹木を守りたい、グリーンホールを維持したい、そういうためにどうすればいいのか。

やはり市民が大切にしているもの、今回のグリーンホールもそうですし、駅前広場、タコ公園、樹木を守るための署名が1万6,000ぐらいは集まっていると聞いています。タコ公園も子どもがよく遊んでいたところ。公園がなくなる日にはお別れ会まで開いたところ。市民のみんなが大事にしているところ。ただ道路になったから補助金とか、それは市民が大事にしているところではないと思います。本当に大事なところを守るにはどうしたらいいのか、個別ではなくて、みんなで知恵を絞って解決しようとしていただきたいと思います。

○城戸生活文化スポーツ部次長

今、庁内で検討しています。しかるべき時点で市民の皆さまにお知らせしようと考えていますので、ご理解いただければと思います。

○C

今のご回答はよく分かりませんでした。前回の7月の議事録にも、自分だけでなく、いろいろな人がこの話題についてご発言されていたのを議事録で読んでいます。7月から

もう3か月経過していますが、この間になさっていたことを教えてください。

○榊文化振興課長

7月の利用者懇談会でありましたご意見につきましては、駅前広場など地下駐輪場の関係もありますので、都市整備部にご要望を全てお伝えしています。また、今年度から設置している公共施設などの総合的な管理の推進に必要な事項を庁内で検討する公共施設等マネジメント推進検討会議というところでも情報を共有させていただいておまして、グリーンホールの外階段単独ではなく、総合的に庁内で検討を進めている状況であります。

○F

情報を共有しましたということだけではなく、具体的にその方向に向かってどういう動きをしたかを我々は知りたいところです。要するに、もう3か月、4か月たっていますよね。その間に市民の要望に対して何が動いたかを我々は知りたいわけです。単に共有しただけでは回答になっていません。共有というのは、こういう意見がありましたということ共有しただけでしょう。具体的にはどういう進展がありましたか。

○榊文化振興課長

確かにおっしゃるとおり、外階段については大切に現状維持をしながら残しておきたいというご要望もたくさんいただいていますので、我々所管としてはどうにか継続して使用ができないかと庁内でも総合的に検討しています。ただ、現時点で結果についてはお答えできないところがございます、引き続き検討している状況とまでしか申しあげられないということです。

○F

こういう問題は、要は誰かがイニシアチブをとって進めないと、結局そのまま流れが変わりません。誰が市民の要望に応えるような動きをしてくれるかが一番大事です。そういうことをおやりいただくのは今の文化振興課ではないのでしょうか。財団からもぜひ減らさないでお願いしたいという要望が出ていると思います。1,300ある席を700席に減ってもいいですよということをそのままにしておくのが文化振興課ですか。それではだめでしょう。我々市民が希望するのはその点なのです。誰か具体的にはっきり動き出してください。動き出すのは文化振興課でしょう。そうは思いませんか。

○榊文化振興課長

グリーンホールの屋外階段の問題につきましては、やはり文化振興課でこれだけのご要望をいただいている中でありますので、何とか継続して検討していきます。

○F

本当に文化振興をやってくださいよ。単に情報を共有しました、ではだめなのです。分かりましたか。

○榑文化振興課長

はい。今、庁内全体で検討は続けていきます。

○F

あしたは休みですが、来週から即動いてください。いいですね。

○榑文化振興課長

引き続き検討してまいりたいと思います。

○F

検討するのではなくて、市民としては動くという約束をしてもらいたい。この件は動かないとだめですよ。簡単に700席に減ってしまいますから、文化振興課としてはそれでいいと思いますか。そうではないでしょう。

○榑文化振興課長

我々所管としては、何とかご要望も踏まえながら検討をしていきたいと考えていますが、グリーンホール単独では考えられない課題がありますので、ご理解ください。

○F

それは分かっています。分かっているから、駐輪場の容量を減らすなり、提案があったようにほかの構造に変えるなり、いろいろな手はあると思う。大問題は、1,300席が700席に減ってしまう。それでいいのですか。我々市民としてはそれでいいとは思わない。それを大前提にしてください。いいですね。

○C

では、またよろしいですか。

○窪田総務課長

すみません、まだ途中ですが、Cさんの途中でしたので。

○C

先ほど市の方もグリーンホールの外階段の問題とおっしゃいましたが、階段の問題ではありません。グリーンホールの容量が減ってしまうことが問題なので、そこをまずご認識をお願いしたいと思います。そのために、今ここに下線で、今日ご用意していただいた回答がありますが、共有しましたというところと、意見交換を予定しているところがページ

をわたって書いてあります。これを拝見すると、前の方もおっしゃったように、では、意見交換はいつやるのかとかもすごく気になってきてしまいます。

○榊文化振興課長

年内には開始をしたいと思っております、今、各団体と日程調整をしているところです。

○C

例えば同じ調布市の職員の方でも、まちづくり事業をやっている人と文化振興をやっている人、それから、交通対策で駐輪場を整えなければいけない人、ロータリーを拡幅して駅前広場を完成させようという人、駐輪場の台数を確保しようとしている人、そういうお役目で働いていらっしゃる方とは目的としてぶつかってしまうところもあるかもしれないですね。

では、階段は平成35年まではあるかもしれないですが、その後はないわけですから、その後はすぐ存亡の危機が分かっているわけです。それに対して所管である文化振興の方が庁内で闘う気構えというか、そのようなところでやっていただかないと、ぶつかるかもしれないが、頑張る。共有ではなくて、頑張って維持できるようにするのだというところだとやらないと、負けてしまう。庁内というのはおかしいかもしれないですが、文化の振興の維持というか、グリーンホールで今までいろいろなことをやってきたと思いますが、そういうこともできなくなってしまう。そういうところに危機感を持って動くところで頑張ってください必要があるのではないかと思います、それはいかがでしょうか。

○榊文化振興課長

今ご意見いただきましたとおり、我々もできるだけ長く、どうにか現状維持で使えないのかを実際に庁内で関係部署にいろいろ確認していますので、今回のご意見についても受けとめさせていただきたいと思っております。

○C

どうにかではなくて、今の調布市が考えている自走式の地下駐輪場の工事が始まってしまふと階段も撤去になり、グリーンホールの大ホールの容量を少なくしなければいけないところまで分かっているのです。だから、今、駐輪場の計画を変えないと、できるだけとかそんなところでスタートしたらどうなるか、その先はもう分かっていることになります。今考えなければなりません。

それに対して、7月にもそのような意見が出ていたのを私は見てきました。今日は11

月の頭です。それに対してどういうことをされているのか。共有という言葉はあるのですが、相当そういうのがあるということですよ。そうではなく、文化振興の方で、今回も意見交換をすれば止められるのか、私はそうは思わないのですが、具体的に止めるために何とかしようというのはないのですか。

○城戸生活文化スポーツ部次長

グリーンホールを現状のままでもうしばらく使えないかも含めて庁内で検討してまいりたいと考えています。

○F

要はグリーンホールの1,300という席を600席も減らしてすませしてしまうことは、市民としては到底納得できないということです。前回も申しあげましたが、財団を指導監督するというのが、今の生活文化スポーツ部の役目でしょう。懇談会を立ち上げるときに私が言った、財団とまずやっておいてください、何か問題があったら部から次回から出させてもらいますという当時の副部長の意見と全く変わっていない。行政部門として、財団を指導監督する部署としての責任を本当に果たしてもらいたいわけです。そういう希望です。極端に言いますと、生活文化スポーツ部という名前が泣くような仕事はしないでもらいたい。

1,300席は絶対減らさないということで進んでもらいたいというのが市民としての非常に強い希望のはずです。少なくとも、今、隣の方もおっしゃっておられるように、いかに1,300席を減らさずにグリーンホールの容量を維持するかを大前提にして動いてもらいたい。階段がどこへ行こうと私は知ったことではない。自転車の駐輪場が少なくなる、それは知ったことではない。要は1,300の席を維持してくださいということです。よろしくお願いします。

○窪田総務課長

この間ずっと、グリーンホールの大ホールの件で、現状の1,300という席数の維持ということでご要望をお2人から頂戴しています。ご意見に対して市側からも回答させていただいていますが、現時点ではこれ以上なかなか回答が出ないような状況です。本件については、市もまた1回持ち帰って、当然ながら庁内で協議をしていくということです。その件については、ほかにご意見があれば、まだ時間がありますので結構なのですが、ひとまず終了ということではいかがでしょうか。

○C

やはり市民に対しては、駅前広場で地下の駐輪場がそのまま作られるとグリーンホールの容量が減ってしまうことが余り知られていないように思います。そういうことがこれから起きようとしているのですと、まず周知してほしいです。

○榊文化振興課長

もちろん背景については説明をした上で、利用団体との意見交換を行う予定でいます。

○C

意見交換は意見交換だと思います。まず、今そういう計画があるから、そのようなことが起きようとしているのですと周知してほしいのですが、それについてはいかがですか。

○城戸生活文化スポーツ部次長

関係部署と協議をしてみたいと思います。

○C

文化振興課としてはできないのでしょうか。関係部署と調整しなければ、グリーンホールの所管でいらっしゃるのですよね。グリーンホールがそうなるということは、所管ではできないのでしょうか。

○城戸生活文化スポーツ部次長

外階段を撤去するという方針は示されましたが、我々としても維持できないかとかも踏まえまして検討してまいります。まだいろいろなことが決まっていませんので、今の段階では周知はできないと考えています。方向性とかを早期に定めてまいりたいと考えており、その際に皆さんに周知を考えていきたいと考えています。

○C

そうすると、また時間がたってしまうと思います。あとは、今日は用意していませんが、どこかの場で市長のご発言で平成35年末までに外階段を撤去すると言われていたと記憶しています。文化振興課ではなくて、トップのご発言だと思っているので、それを受けたら、市長が変わるか変わらないかもあるかもしれませんが、トップのリーダーシップのもとに進んでいってしまうのではないかと考えています。

そこに対してグリーンホールの所管の部署が闘う意思を持って、今そういうことが起きようとしているのですと。本当にそうなのですから、それについてだけでもまずお知らせしてほしいです。意見交換、そうするとまた時間がたってしまうではないですか。前の方も、すぐアクションしてくださいとお願いしていたと思います。今日、自分が来たのもありますが、すぐこういうことをしますというところで、ああ、そうかと帰りたいと思いま



すが、いかがでしょうか。

関係部署とか、余り関係ないのではないのかと申しあげたいのです。グリーンホールの所管として、今、そういう計画、グリーンホールの容量が減ってしまうかもしれないと知らせてもいいのではないのですかということなのですが、そんなに難しいでしょうか。

○城戸生活文化スポーツ部次長

市報では「かもしれない」ということでは周知していませんので、今の段階での周知は難しいと考えるます。

○F

今日の回答集にあるように、600減りますとはっきりおっしゃっておられるから我々は非常に心配しています。決まっていなとおっしゃるのですが、現実はその方向で動いているところが一番の問題であって、誰がどのように阻止するか、1,300席を維持するかを具体的に資料でお示しいただかないと、安心できないわけです。現に600席減りますとはっきり書いておられるので。

○城戸生活文化スポーツ部次長

それは撤去した場合です。

○F

とにかく、その方向で動いてください。要するに1,300席を減らすのはとんでもない話だということです。

○城戸生活文化スポーツ部次長

今日の意見を承りまして、庁内で……

○F

単にそういう意見があることを共有いたしましたなどというのは、非常に生ぬるい言い方であって、現実には何も動いていないということで、これは財団としても大問題だと思います。財団は市から見ると余り強く言えない立場はよく分かるので、我々市民から言うしかならないと思い、それで申しあげているのです。調布市としては大変なことですよ。それを市の行政としてよく理解して動いてもらいたいということです。今日の話はそれに尽きません。よろしくお願ひします。

○C

きつとこの場にいる人は、やはりグリーンホールは文化の殿堂であって、大ホールはずっと1,300席であるほうがいいのではないかと思っている方ではないかと私は思っ

ています。そういうものに対してみんなで知恵を出していくことをお願いしたいと思います。関係部署とか、違うとか、そういうことも承知しているのです。そういうことを踏まえましても、あるいは樹木は樹木だけでない、地下駐輪場は地下駐輪場だけでもない、線路敷地は線路敷地だけでもない、階段は階段だけではない、グリーンホールはグリーンホールだけではない、全部つながっている。ここを皆さんでご認識いただいて、樹木とか、駐輪場とか、それだけではありません。調布駅の線路が地下に行って、いろいろなものが変わってきてしまったという状況です。

さっき駐輪場という話もありましたが、駅ビルの800台分の駐輪場ができた。調布市は平成20年に今の計画を立てて、平成37年までの計画でやっている。全体で7,800台をこの辺に置くということで、そのうち3,300台が不足するから、線路敷地には1,400台ぐらいを置いて、地下の駐輪場としては1,900台を作るとのことです。駅ビルができたとか、そのようなインパクトの部分も、特に民地は民地とか余り考えていないようですし、いろいろ状況はていつてしまうというところですよ。

あとは、余談かもしれないですが、小田急線も来年の3月には複々線が完成します。小田急が発表したところでは、狛江も準急が停車するようになります。そうすると、市の東側、国領とか多摩川住宅とかは狛江のほうがいいやとか、そのような感じで、小田急線のほうが朝早く都心に出られると分かれば、調布に余り人が来なくなるかもしれません。そのようなこともどんどん状況が変わっていくので、駅ビルが調布にとって一番のインパクトかもしれませんが、平成20年に作った計画が平成37年までそのままいいとは全く思えません。

先ほどの駐輪場もありましたが、そういうのも含めて、今、非常に問題ではないかと7月にもいろいろな人が言っていたところもあるので、本気で捉えて動いていただきたい。調布に住んでいる者として本当にそう思いますし、やはりこれからもにぎわいや文化の振興も含めた中で、調布が発展していく中では大事なことはないかと思っていますので、ぜひよろしく願いいたします。

○H

Hと申します。

第1点は、1階の待合室席をビジネスマンが会社がわりにしている、自分のオフィスがわりにしています。しかも、大きな声で会社の話をしているという点が私は非常に気に入っています。それから、競輪の客が1階の待合室とかにいて、競輪の第2休息室としてい

ます。そういうことは余り個々に言うべきことではないかもしれません。

それから、文化会館と称して、ごみ箱がひとつも置いてありません。以前はあったのですが、使用者がいろいろなごみを投げ込むので、清掃の方から苦情が出て中止になったのではないだろうかと私は考えています。これはまた世界の文化会館の中でごみ箱1つ置いていない文化会館は調布だけではないか、ちっとも文化的ではないのではないかと私は思います。それはやはりいろいろな立場の人を考えると強くは言えない問題です。

それから、1階の一時預かりロッカーはほとんど使われていません。設置された当初は結構使われていましたが、ホームレスが朝一番に大型を使用して複数占拠してしまう。それで苦情があったわけです。それで一気に有料に変えてしまったわけです。そうしましたら、ほとんど利用がなくなったようです。しかも、新しいものならともかく中古で、100円玉を入れるとまるで賽銭箱のようにポトンと音がして、貧相な感じのロッカーは現在ほとんど使われていない。それで半分は撤去されてしまったということは、財団としてこの問題を考えていただければと私は考えています。デパートなどでは無料のところは複数あります。ところが、施設が立派ならいいが、そうでないにもかかわらず有料にしたものだから、利用者はゼロ。まるで幽霊が利用しているような状況で、さらに半分撤去してしまった。ただ、それは使用者にも問題があるわけですから、公共の場所の1つの利用方法として難しい問題だと思います。

もう一点、楽しみにしていたビデオがあったのです。世界の初めはアフリカの女性から始まったというようなビデオを楽しみにしてしまして、来ましたら、それは盗まれてしまったと言うのです。だから、かわりに冷凍マンモスを運搬する仕事のフィルムを見させていただき、それはおもしろかったです。ただ、一番見たかったものが盗まれてしまっている。しかも、貸出は普通の人が入りできない保管室なのでしょうが、それを業者に委託していると聞いていたのです。そのフィルムは高くてもう買えないということですから、委託した業者からそれなりの損害賠償をとって補填されるべきではないかと私は考えています。詳しいことは一切分かりませんので、当てずっぽうのことを申しあげているかもしれませんが、やはり公共のものが失われることは非常に問題であって、それをカバーする努力が放置されているのではないかと非常に残念に思ったのです。そのフィルムは高くても二度と手に入らないということです。ほかの状況はどうなっているのか。

○窪田総務課長

ありがとうございました。今5点ほどお話を頂戴しましたので、順次回答いたします。

○大割総務課施設管理係長

1階のエントランスホールの使い方は、特に目的を定めずに、どなたでもご利用になっていただけるようになっています。ただ、長時間同じ方が占有されているという場合にはお声がけさせていただいているということでもあります。

ごみ箱の件ですが、ごみの減量の見地からごみ箱は設置をしていないということですので、ご理解をお願いしたいと思います。

○H

ごみの減量を踏まえてですね。

○大割総務課施設管理係長

なるべく持ち帰っていただき、省資源化にご協力いただくようお願いします。

次に、コインロッカーの件について、有料であるべきなのか、無料であるべきなのか、現在、有料で行っていますが、全く使用されていないことはありません。ただ、このままでいいかどうかはご指摘のとおりかもしれませんので、市とよく相談したいと思います。

次に、ビデオの件は、6階でご覧になったのでしょうか。

○H

公開するという掲示板が出ていて、それを楽しみにしていました。どこかに保管室があって、それから取り出して上映するわけです。

○窪田総務課長

いつ頃のお話でしょうか。

○H

もうずっと前のことです。

○窪田総務課長

もう何年も、10年以上前の話ですか。

○H

そんなにたっていないませんが、ずっと前です。掲示板に出ていたもので、私は楽しみにしてきたところ、それは盗まれて、高くても買えませんからということで、冷凍マンモスを移動させるフィルムにかえて上映していただいたわけです。それはそれなりにおもしろかったのですが、本来私が見たいものは見られなかった。しかも、フィルムは盗まれてしまったということなのです。高くてもちょっと買えないということなのですが、ほかを聞きました

ら、業者に委託していると聞いているのです。委託業務ね。

○窪田総務課長

上映というのは、たづくりの中で上映していたということでしょうか。

○H

そうです。時々あるらしいのです。フィルムの小さい映画館みたいなものです。

○窪田総務課長

貸館もありますので、例えば利用団体の方が施設を借りて上映していたことも考えられますが。

○H

そういうのとは全く違って、市民オンリーにやっているのです。保管会社は別会社だと聞いています。

○大割総務課施設管理係長

今、内容が確認できないので、改めて確認させていただきたいと思います。

○H

そういう事実があったということです。それだけは間違えないでください。

○大割総務課施設管理係長

承知しました。

○窪田総務課長

ありがとうございました。

Cさん、先ほど最後にお話があるとおっしゃっていました。

○C

3点あると申しあげたところの3つ目の話です。さっきはLEDの電球の話をしたのですが、電力の調達についてです。いわゆる新電力と言われているものから電力が買えませんかというところで、高圧は2001年ぐらいから自由化になり、このぐらいの大きなビルになると低圧ではないと思います。自分の住んでいるマンションは高圧の契約でした。昨年、小売の自由化になってから、マンションぐらいの需要に対しても新電力と言われているところが、切りかえませんかという提案をしてくるようになりました。

福島原発の事故以来、もともと早い段階から自由化されていたので、自分が認識しているのがその直後ぐらいで、17%ぐらいだったのでしょうか、東京電力がすぐ値上げを調達してきました。それに対して抗う手段が何もないという状況で、メニューを変えたり、

それこそLEDにしたりというやり方をもって、何とか値上げに対抗して電気代を払わなくていいようにしていました。

伺ったところでは、たづくりについては東京電力からの調達だそうです。理由を担当の方に聞いたところでは、ここの西側には電算センターが入っていたりして、止めてはいけないところもあるので、東京電力と財団だけの決定はできず、調布市との関係もあって、切りかえには至っていませんというお話を聞いていました。ただ、自分の住んでいるところで聞いた会社さんですと、基本料金と従量料金で料金は設定されるのですが、基本料金が関西地区では50%オフです。東京電力管内では35%オフで、それに従量料金が乗りますので、総額で7%ぐらいは安くできるというご提案とかもいただいて、それだったらできるかなとかということもありました。

そういうやり方について、不安がないかを調べたところでは、送電網については、今ですと東京電力パワーグリッドです。送電網の会社は新電力にかえたとしても特に変わるところがありません。地域の停電とかが発生した場合には、東京電力の送電会社が責任を持つところは変わりませんし、変電設備も変わらない。自分のマンションは高圧なので、キュービクルという変電施設がありますが、自営なので、元からマンションで管理組合が契約した技術者に点検してもらおう。そこも変わりません。では、あとは何が変わるのといったら、契約会社が変わるだけであるという結論に至り、切りかえることにしました。

恐らく調布市でも学校とかではやっているところもあるかもしれないです。先ほど申しあげたような、調布市の温室効果ガスの排出量が多いということで、エネルギーをいっぱい使っているところなのか、電気は相当使う施設なのではないかということで、電力の調達で新電力とかを使えば、特に使い方に関しては何も変えるものがないわけですから、そうやって改善ができるのではないかと思ったのですが、いかがでしょうか。

○大割総務課施設管理係長

お答えします。まず、7月にいらしたときに、窓口で対応した者の説明が正確でなかったということでお詫びをさせていただきたいと思います。平成23年度の契約からなのですが、たづくりもグリーンホールも電気の調達に関しては競争入札をしています。毎年は行っておりませんが、定期的に入札をしています。ご承知のとおり、グリーンホールについてはPPSと契約をしています。たづくりについても23年度の契約で競争入札をした結果、東京電力が落札したということです。

それ以降、折に触れてPPSに対してたづくりの調達についても見積もりを依頼してい

ますが、結果として東京電力よりも安く見積もってくる業者がなかったということであり  
ます。

理由がございまして、たづくりは電気の使い方が非常に効率的で、負荷率が非常に高い  
ので、PPSでは採算が合わない。東京電力しか対応できないということで、結果として  
東京電力と契約しているということです。結果として、一番安いということなのです。

○窪田総務課長

よろしいでしょうか。3名の皆さんからご意見などを頂戴いたしました。間もなく終了  
の時間になっています。ほかになればそろそろ終了させていただきたいのですが、よろ  
しいでしょうか。

○F

では、1つ。利用者懇談会、今日は3人だけですが、今まで土曜日の開催、平日夜の開  
催といろいろな試行錯誤をしていただいています。具体的に統計をとって見て、いつの日  
が一番集まりやすいかを一遍チェックしていただければと思います。今日はたまたま少な  
くて3人かもしれませんが、私は一番、やはり勤めていらっしゃる方もおいでになれる土  
曜日、あるいは平日の夜がいいのではないかとご提案したのですが、実際、それでかえっ  
て集まりが悪いようであれば、またほかの日時も考えていただいたほうがいいのではない  
かと思いますので、調べていただければと思います。

○窪田総務課長

次回は来年になってしまいますが、今のご意見を踏まえて、人数は把握していますので  
統計を確認した上で、ホームページや広報誌ぱれっと、開催前には当然ながら館内にも貼  
り出しをしながら開催日などをお知らせしたいと思います。

○F

12年間ですから24回、余りサンプル数が多くないので、せっかく統計をとっていた  
だいても役に立つ率が出るかどうかは分かりませんが、チェックしてみてください。

○窪田総務課長

ありがとうございます。

それでは、ほかにもしなければ、以上でたづくり・グリーンホール利用者懇談会を終了  
します。本日は貴重なお時間を頂戴して、多岐にわたりご意見を頂戴いたしましたので、  
また市側とも話をしながら進めていきたいと思っています。

○C

冒頭で申しあげたのですが、21時までと書いてあるのだから、いていただくのはできないのですか。そこは大丈夫なのですか。

○窪田総務課長

私たちはまだ時間がありますので、会場に残ります。よろしいでしょうか。

○C

はい。

○窪田総務課長

では、以上で懇談会を閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。

——了——